



株式会社 巴商会
TOMOESHOKAI CO.,LTD.

CSR REPORT 2023

安全・環境・企業市民活動 年次報告書



トップメッセージ

社是・経営理念

お客様のためになることをする

私たちは お客様の立場になって考え行動することを信条として

法令の遵守と環境保全に配慮し

時代の変化に対応した有益な情報や商品サービスを提供することにより

お客様や社会の発展に貢献することを目指します

近年の新型コロナウイルス感染症拡大やウクライナ紛争は、世界中で社会・経済に大きな影響を与え、人々の生活や企業活動にも大きな変化をもたらしました。加えて、世界中で気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化も進んでおり、人的被害や経済被害が発生しています。こうした環境下にあって、産業ガスのスーパーディーラーを自負する私どもにできることは何か。私どもは常にこのことを自問し、日々創業者精神に立ち返り、社是「お客様のためになることをする」を旨とし、経営理念の実践に努めています。



株式会社巴商会

代表取締役社長 深尾 定男

最重要課題

「安定供給」「安全確保」に対する取り組み

私どもが取り扱う各種産業ガスは、あらゆる産業界で利用されているものであり、その事業活動を継続していくために無くしてはならない有用なものです。一方で、取り扱いを誤ると大変危険なものでもあります。そこで、私どもでは、お客様のもとへ安定的に且つ安全に各種産業ガスをお届けすること、そして、お客様が実際に現場でご使用されるところまで法令に基づく適切な取り扱いを励行し徹底した安全の確保に努めること、また、それらの取り組みを通して社会の様々な分野の発展に貢献すること、これらのことを使命と考え、日々その実践に努めています。

産業ガスのほとんどは無色透明であり、モノづくりの過程で利用されるケースが多いことから、家庭用燃料ガスなどとは違い、そうした私どもの取り組みが一般のステークホルダーの皆様目に止まることはほとんどありません。しかしながら、私どもの取り組みによって、お客様が良い製品・商品を作り社会に貢献されること、そしてそのお客様が社会から評価されること、それが私どもの願いであり、役割であると考えています。特に近年は、サプライチェーンの大混乱により、そうした取り組みが困難を極めるというこれまで経験したことのない状況に遭遇し、私どもがお客様や社会に対して如何に重要な役割を担っているのかをあらためて感じています。

企業市民として

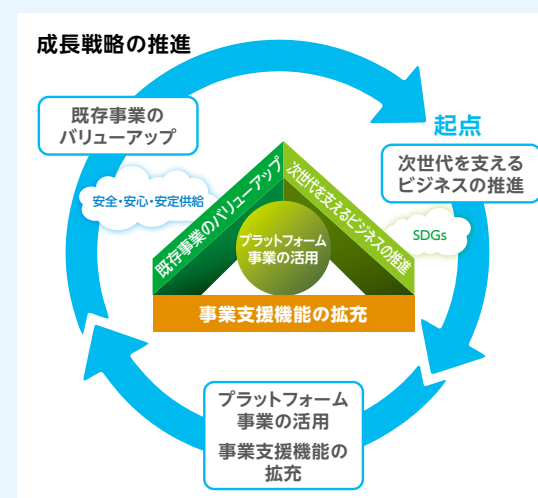
SDGsの達成・脱炭素社会実現に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが第5類感染症となったことで、日常生活が戻り始め、企業活動も活発になってきました。ポストコロナ社会の輪郭が少しずつ見え始めてきた状況です。また、それに伴って、サステナブル社会実現に向かうスピードが一気に加速し、同時にそのスピードに耐えうるレジリエンスの高い社会への急速な変化が起きています。

私どもでは、サステナブル社会実現に貢献すべく、既にSDGsの達成・脱炭素社会実現に向けて様々な取り組みを行っています。もちろん、前述の『「安定供給」「安全確保」に対する取り組み』自体もSDGsの達成・脱炭素社会実現に資するものでありますが、私どもではさらに一歩進んで、一般のステークホルダーの皆様にも分かりやすい取り組みとして、以前より、

地域貢献活動、各種ボランティア活動への参加をはじめ、陸上養殖、ライフサイエンス、水素・エネルギーなどの各事業の展開も図って参りました。足許では、そうした取り組みが私どもの確固たる事業基盤として成長しつつあり、経営のレジリエンス強化に大きく貢献しています。そして、その結果として弊社のサステナビリティも高まっていくという良いスパイラルが確立しつつあります。

本報告書の該当年度は中期経営計画(TM2023)の最終年度であり、このスパイラルの実現は単に計画を完遂したということだけではなく、計画自体の実効性の高さも示すものとなりました。については次期中期経営計画においてもTM2023の骨子を踏襲する予定です。引き続きこの良いスパイラルを持続してサステナブルでレジリエンスの高い社会の実現に貢献して参ります。



トップメッセージ

なお、TM2023における私どもの4つのマテリアリティにつきましては、それぞれの課題を概ね計画通りにクリアすることができました。しかしながら、計画期間中は外部環境の変化が著しく想定外の状況の連続であったこともあり、特に「安全・安心・安定供給への取り組み」に関しては、さらなるレジリエンス強化の余地があるものと認識しております。

加えて、こうしたすべての取り組みによって「広く行政サービスの原資を生み出すと同時に社員の生活基盤の安定を確保することで、より事業の継続性が高まり、さらにお客様や社会のためなることをすることができるようになる」といった面での良いスパイラル、いわゆるESG経営を実践できているものと考えており、引き続きこれからも実践して参ります。

但し、これは私どもだけで実現できることではありません。前述の通り、私どもは、お客様のモノづくりを支える「縁の下の力持ち」であることを通じて社会にも貢献できるのであって、お客様、ひいてはすべてのステークホルダーの皆様との堅固なパートナーシップなくしてESG経営を実現できるものではないということです。そのためにも私どもは、日々「お客様のためになることをする」を実践するのです。また、こうした取り組みを担う原動力は社員一人一人です。私どもでは、社員一人一人の健康にも気を配り、心身ともにいきいきと笑顔で働ける職場づくりに注力し、健康経営優良法人の認定も受けました。引き続き健康企業宣言のもと、社員が健康で安心して働くことのできる職場を提供する企業であり続けたいと考えています。

私ども巴商会は、これからもこうした理想の実現に向けて、身の丈に合った地道な活動をおろそかにすることなく取り組んで参ります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも私ども巴商会にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画 TM2023

(2021年~2023年)

目指す企業像

産業ガスのスペシャリストとしてお客様のナンバーワンパートナーとなるべく最適なソリューションを提供し共にイノベーションを実現することができる企業グループ。

またそのことを通してより良い社会を実現するグローバルな企業グループ。

4つのマテリアリティ



計画骨子

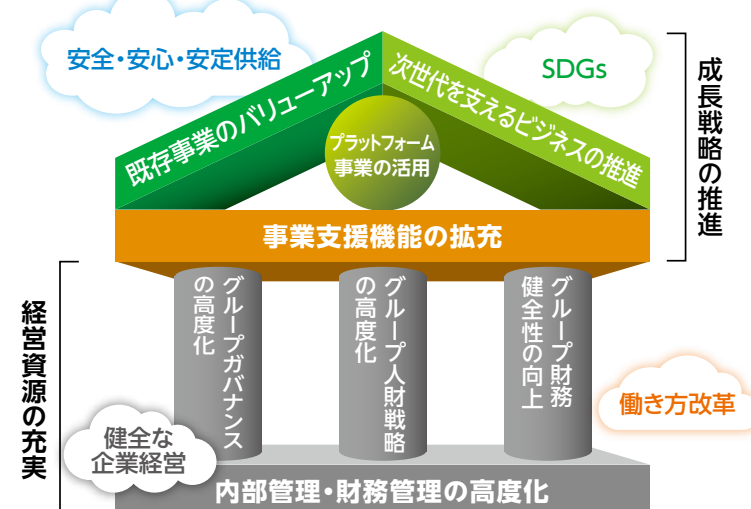
I. 成長戦略の推進

- 既存事業のバリューアップ
- 次世代を支えるビジネスの推進
- プラットフォーム事業の活用
- 事業支援機能の拡充

II. 経営資源の充実

(内部管理・財務管理の高度化)

- グループ人財戦略の高度化
- グループガバナンスの高度化
- グループ財務健全性の向上



INDEX



トップメッセージ	P1 ~ 3
【特集】 脱炭素社会への取り組み	P5 ~ 6
安全への取り組み	P7 ~ 8
環境への取り組み	P9 ~ 12
医療の取り組み	P13 ~ 14
リスク管理の取り組み	P15
働きやすい環境づくり	P16 ~ 18
企業市民としての活動	P19 ~ 20



脱炭素社会への取り組み



水素の立ち位置

日本で供給されるエネルギーのうち、8割以上を石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料が占めており、その利用の際はCO₂の排出を伴います。水素は、様々な製造方法がありますが水と電気があれば作り出すことができ、水素を燃やしても水に戻ることから、環境負荷の少ないグリーンなエネルギーとされます。特に水から水素を製造するときの電力を再生可能エネルギーで供給することで、製造時にCO₂の排出を伴わない水素は、グリーン水素と呼ばれます。エネルギー供給構造高度化法上、非化石エネルギーに位置付けられた水素は、今や脱炭素社会実現の一翼を担うものとして注目されています。

国産エネルギー

エネルギー情勢は、国際的な状況の変化に伴いLNGなどの化石燃料価格の高騰による将来のエネルギー供給リスクが顕在化し、グローバルサプライチェーンの脆弱さが露呈しています。さらに自国の自然災害やサイバー攻撃によるエネルギーサプライチェーン不安もあり、エネルギーの安定供給や早期復旧の体制構築の重要性から、エネルギーシステムの強靱化のために有用となる純国産エネルギーは、日を追うごとにその重要性が鮮明になっています。

その中で、脱炭素社会実現とエネルギー安定供給の両方を実現する、国産再生可能エネルギーを用いて製造したグリーン水素の利用拡大は、まさにSDGs達成に向けた取り組みと言えます。

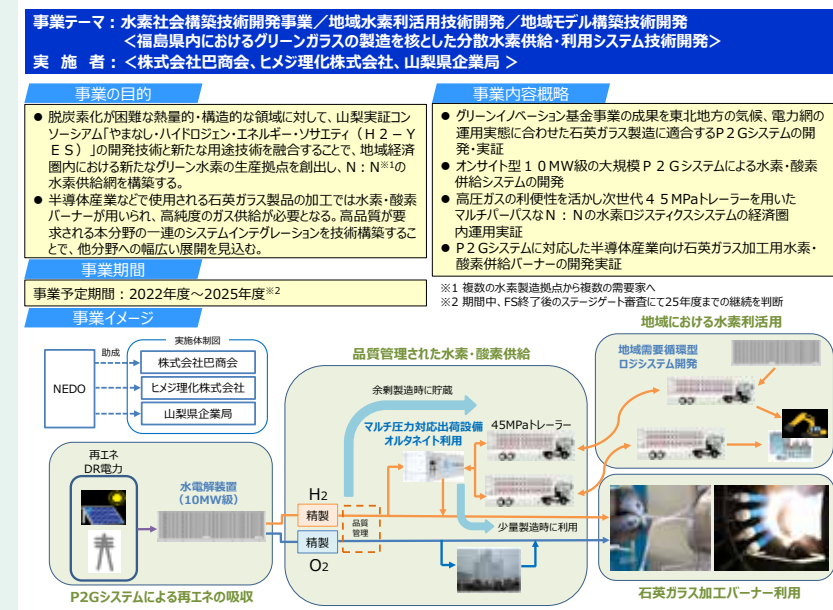


山梨県 米倉山太陽光発電所 水素製造出荷設備

脱炭素社会実現に向けたグリーン水素の地産地消

水電解装置による水素製造設備は、熱需要家である工場に設置し、製造した水素はパイプラインで供給されます。一方、再生可能エネルギー由来の水素は、工場の操業とは連動されずに製造されるため、貯蔵して安定供給する設備が必要となります。この貯蔵を運搬可能な容器に行い、余剰の水素を近隣へ配給することで、「再エネを活用した分散型エネルギーシステムの地域循環共生カーボンニュートラル」を実現するNEDO事業を、ヒメジ理化学株式会社、山梨県企業局と共同で行っています。水素を「作る」・「貯める」・「運ぶ」・「使う」を実証する場所は福島県田村市であり、関連企業や地域と連携することで、グリーン水素の地産地消を実証していきます。

本事業では、ガラス加工で用いる水素酸素バーナーへのガス供給を、水電解装置で発生する水素だけではなく、酸素も利用することで余すことなく利用する新しいモデルとして注目されています。



※NEDO HP より



また、山梨県米倉山で製造したグリーン水素は、巴商会在山梨県から東京ビッグサイトへ運び、燃料電池に供給することでグリーン電力として使用いただくという取り組みにも参画しています。今後もグリーン水素の普及拡大へ取り組んでいきます。

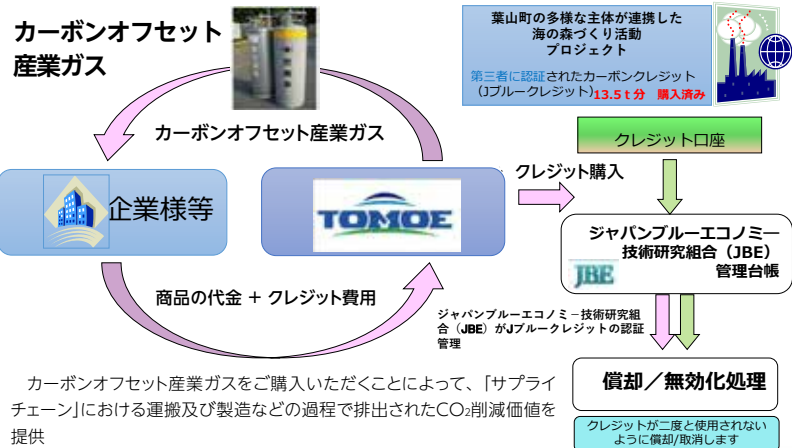


社員の一言

水素は、モビリティや熱需要への利用が拡大していますが、グレー水素からグリーン水素への切り替えについても多くの問い合わせがあり、各企業がグリーン水素利用について本腰を入れ始めたと感じています。水素を活用したグリーンイノベーションについて、ガスに関するノウハウを活かし、企業間を繋いで脱炭素社会実現へ貢献していきます。

水素・環境推進課 今 俊史

TOPIC



カーボンオフセットする対象

グリーン水素ガス運搬時のCO₂排出を実質ゼロにする取り組み

グリーン水素運搬用トラックの走行距離に応じて算出したCO₂量を、巴商会在が購入した「Jブルークレジット」によりカーボンオフセットすることで、グリーン水素の製造から運搬まで、トータルでグリーン化しCO₂排出を実質ゼロにする取り組みを行っています。



Jブルークレジット購入証書譲渡式

『山梨県の多様な主体が連携した海の森づくり活動』
Jブルークレジット購入証書譲渡式



安全への取り組み



当社は、お客様に高圧ガスを安心してお使いいただけるよう、高圧ガスの移動、供給から消費、排気に至るまでのあらゆる場面で公共の安全の確保に努め、積極的に自主保安の促進に取り組んでいます。

『安全』活動の取り組み

高圧ガスの移動に対する取り組み

当社では、社員自ら高圧ガスを運搬するため、事故防止を目的として、2013年より高圧ガスを運搬するトラックを中心にドライブレコーダーを導入しました。2021年以降はAI判定による危険挙動に対する自動メール配信機能をはじめ、拠点ごとの安全運転分析・危険運転動画の公開などを行い、運転計画や体調管理面を含めた指導により、継続して交通事故の防止に取り組んでいます。また、2022年には可搬式超低温容器を取り扱う社員向けに教育動画を製作し、容器移動の技量向上に活かしています。



容器移動のペア練習

ガス供給システムにおける取り組み

当社では、お客様が高圧ガスを目的に合わせて安全にご利用いただけるように、ガス供給設備と付随する配管や除害装置などの設計・製作から施工管理まで一貫して行っております。2002年7月にはこれらのガス制御システム全般の設計・製作・施工管理を行っている技術部門にて、品質マネジメントシステム「ISO 9001」の認証を取得しました。このマネジメントシステムの基本であるPDCAサイクルを回していくことで、継続的に改善を行い安全管理に役立てています。

お客様と取り組む安全

保安講習会の取り組み

高圧ガスの『公共の安全』確保のためには、社内だけではなく高圧ガスを利用されるお客様にも正しく取り扱っていただくことが必要不可欠です。当社では、お客様に高圧ガスや機器の正しい知識を持っていただき適切にご使用いただけるよう、使用するガス種に合わせた内容や身近な不具合事例を取り入れた「高圧ガス保安講習会」をお客様の事業所にて開催してきました。2020年以降はオンライン形式による講習会が中心でしたが、2023年より再び現地を訪問しての講習会も増えてきており、お客様が抱える問題を一緒に解決していくことにより災害の芽を未然に摘むことが、安全の第一歩と考えて積極的に取り組んでいます。



お客様向け保安講習会



社員の一言

高圧ガスが原因となる事故・災害を防止するためには、取り扱うすべての人たちに高い知識・技量が求められます。安全課では、社員への社内資格制度による人材育成はもちろん、お客様へも高圧ガス保安講習会などによって教育・訓練を行っております。一つ一つは小さな取り組みかもしれませんが、継続することで保安法の目的である「公共の安全の確保」に繋がると信じ、日々活動しております。 安全課 高橋 啓介

安全を維持する人材の育成

社内技術教育・社内資格制度の取り組み

多くの産業で自動化が進む現代において、高圧ガス業界でも設備や装置などは自動化が進んでいますが、高圧ガス容器交換や排ガス処理筒交換などの作業はいまだ人の手でやらざるを得ず、作業者の知識や力量に頼った安全の確保が求められます。当社では、これらの特にリスクが高いと位置付けている交換作業に対して社内資格制度を導入し、実機モデルを用いた実技指導・検定を定期的に行うことで、作業者の技能保持と向上に努めています。

また、作業員に力量が求められるその他の業務に対しても社内資格制度を設け、作業の適切性・安全性の確保を目的とした人材育成を行っています。



排ガス処理筒交換の実技指導

社内資格制度

- 特殊材料ガス容器交換作業資格
- イオン注入装置容器交換作業資格
- 排ガス処理筒交換作業資格
- NMR等充填作業資格
- 工事立会い者資格
- 高圧ガス運送員資格

動画教育による取り組み

当社では、高圧ガス供給設備に関する工事を行っており、その配管工事の施工を管理する主任(監理)技術者には、高い力量が求められます。そのため、2023年からは、工事の中でもリスクの高い配管撤去工事に対して、具体的な計画や取り組みを動画にした教育資料の作成に取り組んでおり、今後も様々なテーマを決めて安全作業に繋がる動画教材を作成していきます。

安全意識の向上に向けて

巴商会内で起きた不具合やヒヤリハットの情報は、社内イントラネット「^{トムネット}TOMNET」を通じて巴グループ全体へ素早く周知されます。当社では、こうした不具合やヒヤリハットの情報を組織の貴重な知識と捉え、情報をデータベース化して全社員が閲覧できるようにしています。これを業務改善や安全教育の資料として活用することにより、同類の不具合を繰り返さないことはもちろん、リスクに対する感受性を高めることや作業改善を通じて、安全意識の向上を図っています。

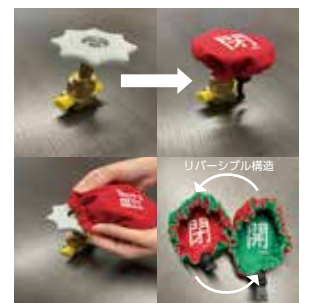
TOPIC

バルブの誤操作防止に役立つ商品の開発

当社では、お客様が高圧ガスをより安心して取り扱えるような商品の開発に取り組んでおり、2021年には、バルブの誤操作防止に繋がる2種類の商品を開発しました。

1 OS バルブキャップ

- ▶赤・緑のリバーシブルのカバーをバルブに被せることで、開閉状態を容易に把握
- ▶バルブ操作時にカバーを脱着することで、操作ミス・思い込みを防止
- ▶防炎性能試験に合格した難燃性の生地を使用



OS バルブキャップ

2 バルブ LOTO*デバイス

- ▶バルブに取り付け後、警告表示と施錠を行うことで、注意喚起とハード的な誤操作防止を実現
- ▶主要バルブメーカーのダイヤフラム弁専用に開発した極小のハンドルカバーで、配管ピッチ50mmまで装着可能
- ▶透明で不燃性のポリカーボネートを使用

※LOTO：ロックアウト(バルブ固定) + タグアウト(表示)を指し、機器の起動装置への施錠と警告表示によって、点検・メンテナンスを行う作業員を労働災害から守る手段。



LOTO デバイス

環境への取り組み



環境活動への取り組み

環境方針

巴商会グループは、地球環境と調和した社会づくりに貢献し、より豊かな未来を創造していくことを目指すために以下を実施します。

基本理念

当グループは高圧ガス関連の専門商社であることを活かし、環境マネジメントシステムを構築して効果的な運用と継続的な改善を推進し、環境への汚染予防に努め安心と安全を社会に提供します。

行動指針

- ① 環境に有益な商品の開拓と販売を促進し、環境負荷物質に配慮して、環境保全の推進へ継続的に貢献します。
- ② 関連法令及び関連基準の遵守に社員全員が積極的に取り組み、自ら監視して安全の確保を図ると共に誠意ある事業活動を展開します。
- ③ ガス・薬液等の設備や容器を保守管理し、不良や劣化による漏洩を監視して環境汚染及び災害を未然に防ぎます。
- ④ 使用するエネルギーを監視して省資源化に取り組み、事業に必要な資材・設備機器は環境に配慮したものを利用して、温室効果ガスの削減に寄与します。



環境法令

巴商会グループは、コンプライアンスを柱とした環境マネジメントシステムを構築し、環境法令の遵守に取り組めます。

主な適用法規

- 高圧ガス保安法
- 労働安全衛生法
- 食品衛生法
- 騒音規制法
- 廃棄物処理法
- 下水道法
- 水質汚濁防止法
- 自動車NOx・PM法
- 電気事業法
- 医薬品医療機器等法
- 毒物及び劇物取締法
- 消防法
- 省エネ法
- 振動規制法
- 浄化槽法
- 大気汚染防止法
- 化管法
- 温対法
- フロン排出抑制法

適用条例

都道府県条例：18条例31項目
市区町村条例：31条例45項目

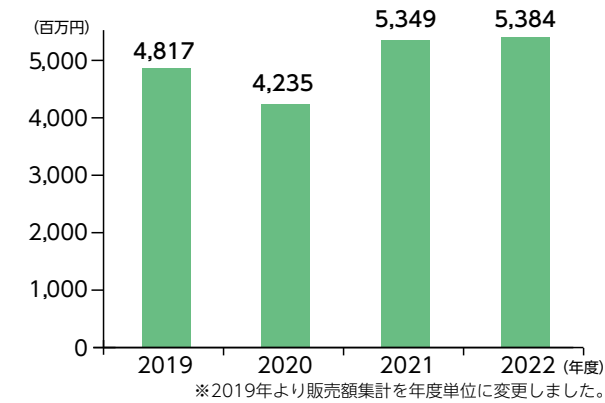


2022年度の主な環境活動結果

環境商材の拡販

高圧ガスの専門商社として、今年度も環境に有益な環境配慮型商品の販売促進に努めました。

環境配慮型商品の販売額



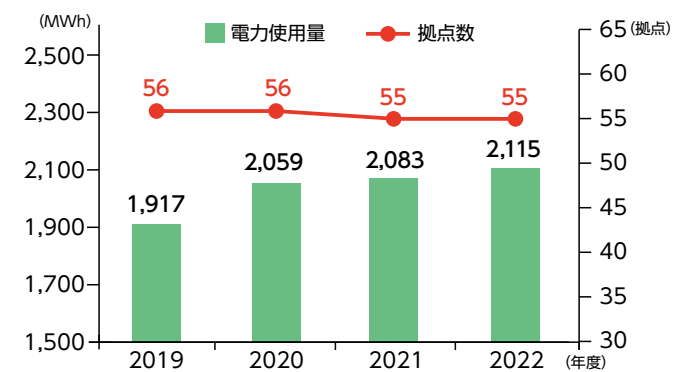
拡販を目指す環境配慮型商品

- 除害関連商品**
毒性ガスを無害にしてから放出する商品
- ガス検知器関連商品**
毒性・可燃性ガスの漏れを検知する商品
- 防災関連商品**
高圧ガスなどの災害に備えた商品
- エコ商材関連商品**
製造・使用・廃棄が地球環境に優しい商品
- 排水処理関連商品**
排水を環境基準に適合させる商品

電力使用量の削減

節電や太陽光発電・デマンドコントロール等により、使用する電力の削減に取り組みました。

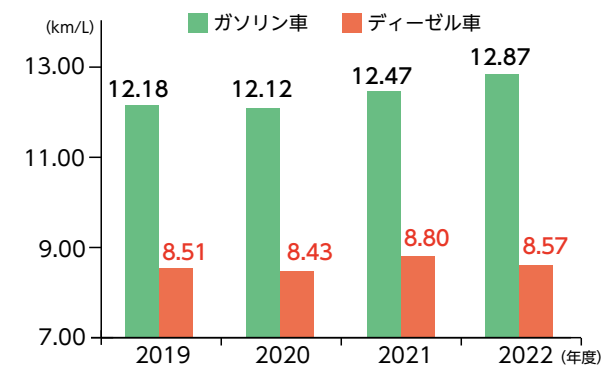
電力使用量（ガス製造電力は除く）



車両の燃費向上

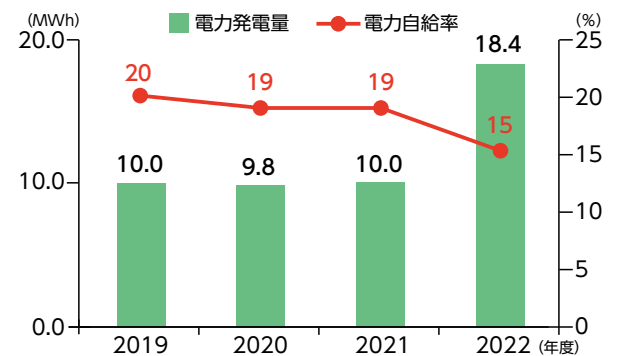
車両の入れ替えやエコ運転・アイドリングストップ等により、今年度も使用する運送車両燃料の削減に取り組みました。

車両平均燃費



太陽光発電量

保有する4拠点の太陽光発電により、使用する電力の一部を自給しました。



※2022年度に荏崎営業所で新たに設置しました。
荏崎営業所では発電分をすべて充電しているため電力自給率は減少しています。

当社の太陽光発電保有事業所

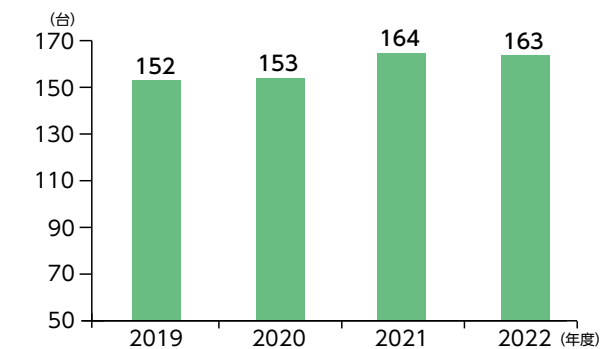
- 高崎営業所 ●伊勢原営業所
- 千葉営業所 ●荏崎営業所



エコカーの導入

社有車に燃料電池車を導入するなど、エコカー導入の推進に取り組んでいます。

エコカーの保有台数



※集計方法に不備があったため、2019年度～2021年度の数値を修正しました。

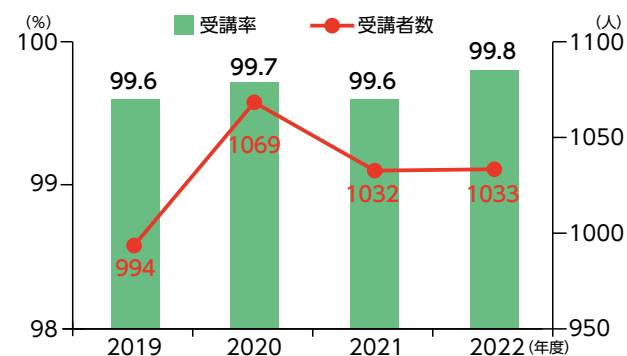
当社の主なエコカー

- トヨタMIRAI ●トヨタプリウス
- ホンダシャトルHV ●トヨタアクア
- トヨタカローラアクシオHV 他



環境教育の実施

環境教育を毎年全社員に対して実施し、環境配慮の必要性や重要性を認識させています。2022年度はSDGsとEMS活動を絡めた内容を行いました。



2022年度の環境教育

- ①SDGsって何？
- ②SDGsの取り組み ー前編ー
- ③SDGsの取り組み ー後編ー



イントラネットを利用した環境教育のスクリーンショット

社員の一言

弊社の主な消費エネルギーは輸送燃料と電力使用です。現在でも各拠点協力のもとで消費量の把握を行っていますが、今後 Scope 等で求められる温室効果ガスの排出量が見える化し、排出削減に繋げていくことができればと考えております。

環境課 吉峰 傑

養殖事業への取り組み

遊休スペースを活用した陸上養殖の展開

水産グループでは、「海業を通じて国内外の水産業と地域の活性化に貢献する」ことをミッションとして、漁業関係者と共同養殖試験、自社横浜水産試験所(YAC)での各種養殖試験、インターンシップ受け入れ及び遊休スペースを有効活用したい新規参入お客様に向けて養殖設備設計提案から技術協力までのトータルサポート等を行っております。

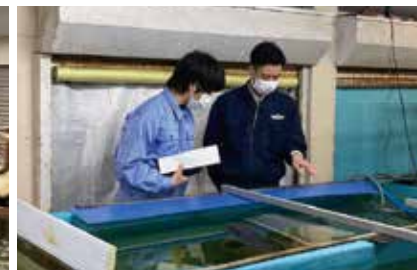
また、水産関連学校との連携も推進し、自社の強みであるガス溶解技術を活かし、陸上養殖を通じて仲間を繋げ、お客様に喜んでいただけるサービスを提供し、環境に配慮した安心安全な陸上養殖展開に取り組んでいます。



YAC ノギリガザガザ養殖実験



YACにて神奈川県立海洋科学高等学校学生の実験



陸上養殖モデルルーム



カワハギ陸上養殖実証実験にて体重測定や成果分析を実施



漁業・水産業をテーマにした水産養殖展示会に出展

第20回シーフードショー大阪展示会

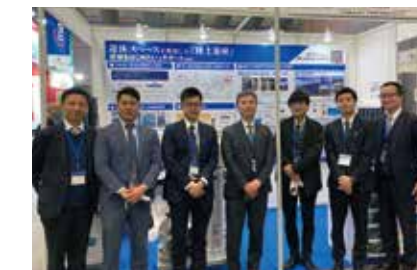
遊休地を活用した陸上養殖モデルと、酸素ガス及び太陽熱を利用した高効率・省エネ陸上養殖をテーマとして出展し、多くのご来場者にお越しいただきました。



巴商会のブースの様子



沢山のご来場、ありがとうございました



協力会社様や巴商会の水産Gr.メンバー

社員の一言

陸上養殖は既存の海面養殖に比べて餌の残渣や魚の糞害による水質汚濁が少なく、環境負荷が小さいため、近年陸上養殖ニーズが益々高まり、成長産業として期待されています。自社の強みを活かし、次世代を見据えた陸上養殖や都市型陸上養殖の推進を積極的に行い、地域活性化に貢献して参ります。

企画営業部 色音

医療の取り組み



在宅医療の取り組み

当社は、病院や公的機関と連携し、在宅医療が必要な方へ医療ガスをお届けすることにより、地域社会の福祉に貢献し、自宅で療養したいという患者様のニーズにお応えしています。在宅療法の種類には様々なものがありますが、例えば「在宅酸素療法(HOT)」では、慢性呼吸不全の患者様が家庭で酸素投与を受けられることで、QOL(生活の質)を改善することができます。住み慣れた自宅で酸素を補うことによって、自宅でご家族と過ごすこと・外出や旅行に行くこと・趣味を楽しむこと・仕事を続けることができるようになります。また、昨年度より取り扱うようになったHigh Flow Therapy は、専用の鼻カニューラを介して加温加湿した酸素や空気を投与する呼吸管理方法の一つです。装着中であっても食事や会話・排痰・口腔ケア等が支障なくできるので、患者様の負担軽減になり、非侵襲的換気療法の新たな選択肢として注目されています。



酸素濃縮装置



携帯用酸素ボンベ



液化酸素装置



High Flow Therapy
(ハイフローセラピー)

その他にも、巴商会で取り扱っている在宅療法は下記のようなものがあります。

- 在宅人工呼吸療法(鼻マスク式NPPV)
- 在宅人工呼吸療法(気管切開TPPV)
- 在宅持続陽圧呼吸療法(CPAP)
- 在宅中心静脈栄養法(HPN)
- 在宅成分栄養経管栄養法(HEN)
- 在宅小児経管栄養法(HPEN)
- 在宅悪性腫瘍の鎮痛療法又は化学療法
- 在宅自己注射



睡眠時無呼吸症候群の治療器



機器の定期メンテナンスはもちろん、緊急時の対応は365日・24時間体制で行っています。高度管理医療機器等販売業貸与業・医療機器修理業の許可証や医療関連サービスマーク振興会による在宅酸素療法における酸素濃縮装置保守点検の認定を受けています。患者様が多数いると言われております「睡眠時無呼吸症候群」の簡易検査とその治療にも関わっています。

社員の一言



患者様一人一人の生き方に寄り添うサービスを地域のドクター・看護師・ヘルパー・薬剤師など多職種の方々と協力し合って、患者様の療養生活を支援しております。在宅酸素療法・在宅持続陽圧呼吸療法などの機器を取り扱っており、医療機器を取り扱うという点で、安全意識を高く持って日々の業務に取り組んでおります。

メディカルサービス部 在宅推進課 佐々木 郁乃

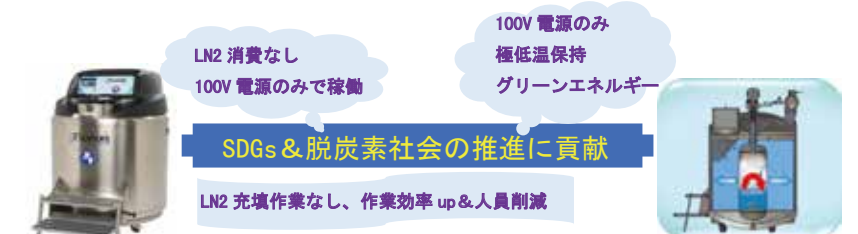
医療の取り組み

ライフサイエンス事業への取り組み

巴グループが得意とする液体窒素を活用し、再生医療分野等の低温試料向け凍結保存容器の販売や極低温保管・輸送サービスの提供をグループのプラットフォーム事業として取り組んでいます。

省エネ型 超低温試料保存容器 MVE Fusion® 1500TM

本装置は、液体窒素を冷却源としながらも100V電源を使用することで、液体窒素を消費することなく-150℃以下の温度帯を維持できる「液体窒素回生方式」を採用し、従来タイプの液体窒素保存容器や超低温フリーザーに比べて大幅にエネルギーコストを削減します。



低温試料の輸送サービス

再生医療や細胞治療、創薬などの分野では、株化細胞、血液などを極低温(-150℃以下)で保存することが求められます。さらに、2022年4月から不妊治療が保険の適用対象になり、精子、卵子、受精卵の輸送需要が増えています。予め冷却した輸送容器をお客様にお届けし、目的地まで配送するワンストップサービスを巴商會が請け負うことで、お客様が個別に行っていた冷却作業、輸送業務が不要になります。



LN2 充填作業 安心の温度監視ロガー



TOPIC

MVE Fusion® 1500TM、低温輸送サービスをテーマに展示会に出展

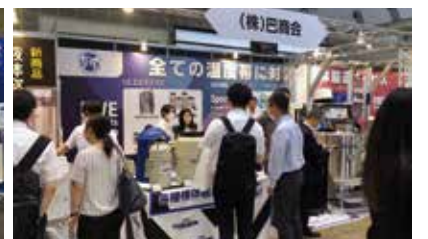
-150℃ ~ +20℃までの温度帯の検体輸送を提案



2022年10月 再生医療JAPAN (横浜)



2023年3月 再生医療EXPO(大阪)



2023年7月 再生医療EXPO(東京)

社員の一言



再生医療の一端を担う低温輸送サービスは今後益々需要が高くなっていくものと思われます。ガス商社としての強みを最大限に活かし、液体窒素を活用した-150℃以下からドライアイスや蓄冷材を活用した+20℃までの高温度領域に至るまで、幅広い温度帯を一貫輸送しております。

企画営業部 桑野 稔也

リスク管理の取り組み



BCP対策

事業継続を考える上で、想定されるリスク要因は様々です。地震災害、集中豪雨や大雪、高潮などの気象災害、新型コロナや新型インフルエンザといった感染症の流行など、近年ではより柔軟な対応(BCPレジリエンス)が求められています。

当社では『災害対策規程(事業継続計画)』が定められており、これによって大規模災害が発生した際には速やかに緊急対策本部が設置され、包括的に指揮を執ることになっています。

近年のコロナ禍でも緊急対策本部を設置し、最新の情報収集と社内外への発信、多岐にわたる防疫対策と社員への啓蒙活動を行いました。3年続いたコロナ禍で、事業継続に支障をきたした拠点がなかったのはもちろんのこと、200名を超える人員が働く本社においても、職場内感染が疑われるケースは皆無で乗り切ることができました。

また、平時におけるリスク管理の一環として、総務課を基点に各拠点長、BCP事務局、安全衛生委員会等が連携して様々な備えを行っています。例えば、全拠点の災害用備蓄品や緊急連絡先リストの定期的な更新確認や安否確認システムの管理・メンテナンスなどです。全国のどこかで震度5強以上の地震が起こった場合には、安否確認システムが自動起動しますが、全社員がこのシステムを有効に使えるよう、毎年3回の安否確認訓練を計画的に行っています。



社員の一言

巴商会は産業用高圧ガスを取り扱う会社なので、もとより社員の一人一人が高い安全意識を持っており、また過去には幾つもの大規模災害を乗り越えています。その資質と経験を活かし、何かがあった場合でも「お客様のためになることをする」を止めない姿勢ができています。それを担う社員が安心して業務を行えるように、私たちも日々の備えを地道に続けています。

総務課 丸茂 高輔

コンプライアンス教育

当社ではコンプライアンス教育として、毎月のコラム発信とともに、「コンプライアンス強化月間」と定めている10月に全社教育を行っています。今年度は「個人情報保護」と「著作権」について、役員及び全社員に対してe-ラーニングを行いました。また、今年度は特別に個人情報保護に関して、11月に所属長向けに実務研修を行いました。コンプライアンスの範囲は多岐にわたり、一朝一夕ですべてをカバーできるものではありませんが、社員のコンプライアンス意識向上のために地道に一步一步発信を続けていきます。



社員の一言

社員一人一人が、自分ごととして捉えてくれることを目標として、毎月違ったテーマのコラムを発信しています。コンプライアンスの範囲は「法令遵守」から「ルールを守ろう」まで様々ですが、それぞれの立場の人がその立場をふまえて守ろうとすることが大事だと思っています。

法務課 河村 美佐

働きやすい環境づくり



健康経営への取り組み

株式会社巴商会 健康企業宣言

私たちは、「お客様のためになることをする」という社是の土台をなす要素として、社員のからだの健康の維持増進、心の健康の向上に取り組むことを決定し、ここに健康企業宣言をいたします。

私たちは、産業用ガスに携わるものとして、「安全」をことのほか重んじてまいりました。そして、その安全を守るために必要なものは、社員の「安全」、わけでも「健康」です。心身ともに、いきいきと、笑顔で働ける職場環境を、組織全体で整えて参ります。

巴グループの皆さんも、一人ひとりが健康の維持増進、生活習慣の改善を心がけていただき、心身の健康を力の源とし、よりいっそうお客様と社会の発展に貢献して参りましょう。



3つの認定を更新

健康経営の様々な取り組みに対し、本年度も引き続き健康優良企業認定を取得いたしました。



健康経営優良法人2023(大規模法人部門)
：日本健康会議(経済産業省発表)



健康優良企業「金の認定」
：健康企業宣言東京推進協議会



健康優良企業「銀の認定」
：健康保険組合連合会東京連合会



主な取り組み

●社員への情報提供

全社員を対象とした「健康習慣アンケート」の結果をもとに、全国健康づくり担当向けウェビナー形式で健康増進のポイントを教育しています。また、社内イントラに「健康アドバイス」や「メンタルヘルス通信」を掲載することで、社員の食生活・運動・こころの健康に役立つ健康ワンポイントアドバイスを提供しています。

●長時間労働削減への取り組みと有給休暇取得促進

ノー残業デーの提案や安全衛生保安委員会での毎月の長時間労働者数発表、有給休暇奨励日の設定等を行い、社員の皆さんのワークライフバランス向上の一助としています。

●治療と仕事の両立支援

当社は健康経営活動推進のひとつとして「がん対策推進企業アクション 推進パートナー企業」に登録し、がん健診の受診啓発、がんについて全社員が正しく知ることやがんになっても働き続けられる環境づくりを行う「がん対策推進企業アクション」の目的に賛同し、健康経営事務局から情報やツールをお届けしています。

このように疾病時にも社員が仕事との両立ができるよう、各種

相談窓口の周知やテレワーク・時差出勤ガイドライン、休職者の支援手順、心の健康づくり計画等で支援をしています。

●定期健康診断

社員の定期健康診断受診を徹底しており、受診率100%維持を目標に活動を計画し、さらには健康診断の有所見者への受診勧奨を行うことで、隠れた症状の早期発見に努めています。

●特定保健指導

特定保健指導対象者には、健保組合提携の外部委託先による特定保健指導を実施しています。勤務場所や時間に関係なく指導を受けることができるようオンラインによる特定保健指導を行ったり、本社での集中実施期間を設けるなどで、参加率向上を図っています。

●メンタルヘルス対策

毎年7月に、従業員50人未満の小規模拠点を含めた全拠点を対象にストレスチェックを実施しています。その結果をもとに、職場ごとのストレス傾向と要因を集団分析し、管理職へフィードバックして、当該職場の環境改善を促進しております。また、高ストレス部署に対して、専門家による個別面談を実施しメンタル不全抑制に努めています。



社員の一言

健康経営活動において、最も重要な目的は従業員の皆様の健康と幸福の向上と考えております。健康であれば、仕事に対するモチベーションも高まります。従業員の健康を最優先に考え、パフォーマンス向上に繋がる施策を実施して参ります。

健康経営事務局 藁谷 陽子

育児休業・育児短時間勤務制度

女性の育児休業制度の利用者は、今年度(2022.9.1~2023.8.31)も100%でした。さらに男性の育児休業も取得を推進しております。これまでも短い期間での取得実績はありましたが、今年度は2~3ヶ月といった長期間で3名の男性社員が育児休業を取得しました。周りの方の理解やサポートがあり、取得推進が進んでいるように感じます。その他にも育児短時間勤務制度は子供が小学校3年生の3月まで適用されるなど、社員の子育てを支援しています。



社員の一言

育児休業の取得後も活躍されている先輩方が身近にいらっしゃるの、事前に様々なことを相談でき、安心して制度を利用することができました。復職後も育児短時間勤務制度を利用し、育児と仕事を自分なりに両立できるよう取り組んでいます。復職後の不安は確かにありましたが、ロールモデルとなる先輩社員の存在がモチベーションの支えとなっており、充実した気持ちで仕事に臨んでいます。

人事課 東本 由以子

イイ TOMO 活動紹介

「イイ TOMO」活動は、2017年に「女性活躍」を主目的として始動しました。「イイ TOMO」のイイは「イキイキ・イノベーション」の意味です。初めは、女性が長く働ける秘訣は何か、を主に考えていましたが、女性が活躍するためには男性もイキイキしていないといけないと気づきました。そのため、男性社員へのインタビューや、男性の育児促進やイクメン紹介などを「イイ TOMO通信」として、これまでに29回発信しています。昨年「男性育休」についての特集を掲載したところ、人事課へ育休取得を希望・より詳しい説明をと相談に来た男性社員が前年より35%増えました。今後も男性育休に限らず、「働きやすい職場」とは、また、より良い職場づくりに必要なことは何か」を季刊誌にて発信していきます。



育児休業分散取得について



コミュニケーション量についてアンケート

研修制度

当社では、全社員、全職種を対象に社員研修を実施しています。新入社員研修から始まり、入社半年後研修、入社3年目までは社会人としての基礎研修を、7年目までは実務研修を、それ以降はマネジメント研修やスペシャリスト研修を行っています。またマネージャー研修ではそれぞれの役割に合った課題をテーマにしています。新入社員研修はより社員の特性を活かした人材開発と適材適所の配属・定着を目的として、人事課と研修室のコラボレーションで運営をしています。他にも実務に関わっている各部署のスペシャリストが講師として登壇するなど、全社のチーム力を研修に活かしています。



社員の一言

コロナ禍が落ち着き、今年の2月より対面研修を再開いたしました。ただ、お客様の状況やご家庭の事情で対面での参加が難しい場合は、ハイブリッド(対面とweb同時開催)で研修を実施しています。社員の皆さんが研修に参加しやすい環境づくりを今後も続けて参ります。

研修室 橋本 愛美

社員の一言

「働きやすい職場とは、コミュニケーション量が十分にある職場である」という点から、面談・フィードバックの量は適切か社員にアンケートを取りました。社員の皆さんがコロナ禍において減ってしまった双方向でのコミュニケーションの大切さに気づききっかけになったかと思います。

技術営業2課 笹倉 舞子

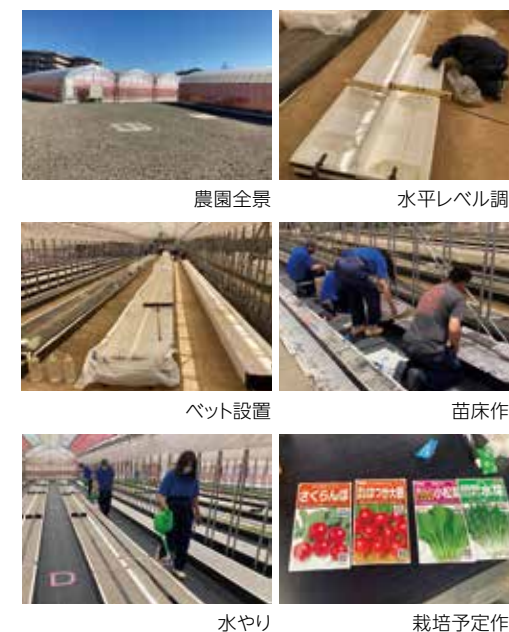
障がい者雇用

当社は、法令及び社会規範の遵守、企業市民としての社会貢献活動、人権の尊重を全社員が共有し、活力に溢れ、より豊かな未来を提案する企業を目指すためにも障がい者雇用を行っています。

2022年12月21日に当社は株式会社エスプールプラスと利用契約を締結し、同社が運営する『ソーシャルファーム わーくはびねす農園 さいたま浦和』において、農園の区画運用を開始いたしました。その農園において障がい者手帳を持つ従業員3名と、管理・指導を行う農場長1名が就労しております。

農園を利用することで、法定雇用率の充足といった実務的な対応のみでなく、上述の地域社会への貢献や、ダイバーシティやインクルージョン促進、健康経営やサステナブル経営を実現して参ります。

12月に開所し、ビニールハウスの中で、野菜を育てるベット(苗床)の設置作業を従業員皆で行い、6月より種まきが開始されました。収穫されたものについては、社員や地域社会への還元に繋げていきます。



水やり

栽培予定作物

TOPIC

パワースーツ導入



当営業所では、通常的气体ボンベだけではなく、特殊なガス容器も取り扱っています。その容器は55kg程度の重さがありますが、お客様に納品する際に、台車から台車へ積み替える作業が発生します。1回の納品あたり容器は5本あり、かなり体に負荷のかかる作業となっています。現在、3名が交代で作業しておりますが、このパワースーツを導入してもらったおかげで助かっています。めちゃくちゃ腰が楽です!!

左の写真は、同僚の益子さんが容器を持ち上げているところです。

東海営業所 菅原 大地



社員の一言

スタッフ3名と農場長の私を加えた4名で、「パミス」と呼ばれる軽石が細かく砕かれた状態のものを苗床(ベット)にして、真夏には室温が50℃近くにもなるビニールハウス内で多くの野菜を日々奮闘しながら大切に育てております。社員の皆さんにも私たちが育てた野菜を是非とも召し上がっていただきたいと思っています。

人事課 浦和ファーム 深田 貴久

企業市民としての活動



私たちにできる「身の丈に合った活動とは何か」を常に考えながら、年間計画を作成し、継続した社会貢献活動を行っています。

社内的な取り組み

社会貢献ワーキンググループ活動の定着化

当社では、地域社会やその他のコミュニティーへどのように貢献すればよいのかということを検討した結果、ボランティア活動などに代表される体験型の社会貢献を第一歩の活動とすることにしました。

気軽にそしてより多くの社員が社会貢献活動に参加でき、継続的・計画的に活動の輪を広げていくことを目的として、志のある社員を中心に「社会貢献ワーキンググループ」を2012年1月より組織しました。

昨年まではワーキンググループメンバーのみで実施していたボランティア活動でしたが、コロナも落ち着き、社員への呼びかけが積極的に行えるようになりました。その結果、今年5月に実施した東京港野鳥公園の清掃活動には社員の家族も含めた総勢20名の参加者が集まりました。メンバー以外の参加が少しずつ増え、活動の輪が広がっています。今後人との繋がりや環境保護への意識を持ちながら、地域に根差した社会貢献活動に注力していきます。

私たちのボランティア活動

ボランティア活動への参加状況

書き損じはがきの寄付活動 (日本盲導犬協会神奈川訓練センター)	26部署／566枚
エコキャップの寄付活動 (NPO 法人 Re ライフスタイル)	6部署／18,084個
使用済み切手の回収・寄付活動	12部署
カレンダー寄付活動 (各都道府県社会福祉協議会など)	23部署／1,351本
駅前花壇 (NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり)	のべ20名(7日)参加
東京港野鳥公園でのゴミ拾い作業 (NPO 法人 東京港グリーンボランティア)	20名参加

(2022年9月～2023年8月)



社員の一言

新型コロナウイルスの影響も落ち着きを見せ始め、大田区の駅前花壇整備や野鳥公園の清掃など屋外の活動を徐々に再開しています。感染対策だけでなく活動中の怪我にも気をつけ、社員とその家族が安心して参加できる社会貢献活動を目指していきたいと思います。

社会貢献ワーキンググループ 森田 悠介

地域社会へ参加の取り組み

交通安全街頭活動

当社は、地域の安全のため、1971年より蒲田安全運転管理者部会の一員として、毎月2～3回、交通安全街頭活動を行っています。主な活動として、幹線道路が交差する地点等で、車による歩行者の巻き込み事故防止のために、ドライバーや歩行者・自転車の通行者それぞれが交通安全意識を高めるよう啓蒙活動に取り組んでいます。



アースフレンズ東京Zを応援！

当社は、大田区総合体育館をホームアリーナとして活動しているプロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」を、Bリーグ参戦初期より継続して協賛・応援しています。「アースフレンズ東京Z」は、地域との交流・子供たちへの指導を通してバスケットボールの普及・選手の育成活動を行うとともに、世界へ羽ばたく人づくり・街づくりを目指しています。

シーズン半ばの特別イベント「アスフレフェスタ」は、ホームタウン、城南地区に住むすべての人が手を取り合い、ともに持続可能な社会の実現に取り組むきっかけを作る機会です。巴商会もSDGsスポンサーとして、障がいのある方々向けに「ユニバーサルシート」をご用意させていただきました。

広報目的のスポンサーとしてではなく、「スポーツを通じて地域社会の人々が繋がる、一緒に持続可能な社会について考える」という考えに共感し、チームを支えています。



TOPIC

障がい者の皆さんとコラボレーション！



当社が開発したOSバルブキャップ(実用新案取得済)は、障がい者の皆さんに製造していただいています。

私どもでは総合自立支援就労事業所1up様とのコラボにより、障がい者の方々への就労の場を提供させていただいています。

東海営業所 下村 直行
小野 卓也

「巴商会からバルブキャップ製造委託をしていただき、障がい者の皆さんに作業工賃を支払うことができています。感謝しています。」

総合自立支援就労事業所1up サービス管理責任者 川又様(談)



総合自立支援就労事業所1upの皆さん



CSR REPORT 2023

本冊子に関してのご意見・ご質問がございましたら、下記宛先までお願いいたします。

株式会社 巴商会（監修：総務部 法務課）

〒144-8505 東京都大田区蒲田本町一丁目 2 番 5 号 ネクストサイト蒲田ビル
TEL. 03-3734-1111 (代表) FAX. 03-3739-1070